

令和7年度 2学期 生徒授業評価アンケート

教科名	国語	重点目標	知識・技能を定着させ、思考や協働学習をじっくり行える授業づくり
学習指導に関する現状と課題（2学期・生徒による授業評価アンケートより）			
1年 国語			
<div><div><div>0%10%20%30%40%50%60%70%80%90%100%</div><div><div>板書は見やすく工夫されている（色分け等）</div><div>プリント等の補助教材は分かりやすく作られている</div><div>授業中、考える時間やグループで話し合う時間を十分にとっている</div><div>学習の振り返りができている</div><div>教科の内容をわかりやすく楽しく教えている</div></div><div><div>■あてはまる</div><div>■ほぼあてはまる</div><div>■あまりあてはまらない</div><div>■あてはまらない</div></div></div></div>			
分析	どの項目も肯定的な評価が80%以上であるが、「ほぼあてはまる」＝「当てはまらない時がある」が1学期より増加している。特に、考える時間、話し合う時間ももっと必要だと感じている生徒が多いため、単元の目標に応じて時間をかけるポイントをしぼり、どの生徒も「わかった」という実感をもてる授業づくりを目指していきたい。		
2年 国語			
<div><div><div>0%10%20%30%40%50%60%70%80%90%100%</div><div><div>板書は見やすく工夫されている（色分け等）</div><div>プリント等の補助教材は分かりやすく作られている</div><div>授業中、考える時間やグループで話し合う時間を十分にとっている</div><div>学習の振り返りができている</div><div>教科の内容をわかりやすく楽しく教えている</div></div><div><div>■あてはまる</div><div>■ほぼあてはまる</div><div>■あまりあてはまらない</div><div>■あてはまらない</div></div></div></div>			
分析	1学期に比べ、肯定的な回答が減少している。特に、話し合う時間や学習の振り返りに課題がある。話し合う場面や考える場面を一層取り入れるだけでなく、思考ツールを積極的に活用したり、話し合う時間や考える時間の確保も重要だと考える。また、振り返りシートの工夫や振り返りの時間の確保、振り返りのための思考の言語化にも力を入れていく。そして、協働学習を通して知識・技能の定着を目指していく。		
3年 国語			
<div><div><div>0%10%20%30%40%50%60%70%80%90%100%</div><div><div>板書は見やすく工夫されている（色分け等）</div><div>プリント等の補助教材は分かりやすく作られている</div><div>授業中、考える時間やグループで話し合う時間を十分にとっている</div><div>学習の振り返りができている</div><div>教科の内容をわかりやすく楽しく教えている</div></div><div><div>■あてはまる</div><div>■ほぼあてはまる</div><div>■あまりあてはまらない</div><div>■あてはまらない</div></div></div></div>			
分析	前回の結果から特に大きな変化はなかった。3年生の2学期になり、受験に関する取り組みが本格化していく中で、これまでに身につけた読解力や語彙力を生かし、文章を自分なりに理解し、それに対する考えや意見をもつことが必要となり、さらにそれを文章表現する力が求められる。3年間の集大成として、授業内では個人の読解作業を主として、それを共有してさらに深め、他者の意見や考えに触れることで、ものの捉え方や視野を広げる活動を取り入れている。卒業後のそれぞれの進路先で生かされることを期待したい。		